

意見書

意見提出元	定期航空協会
-------	--------

ワイヤレスブロードバンド実現のための周波数確保等に関し、以下の通り意見を提出いたします。

意見項目	意見内容
(1) ワイヤレスブロードバンドの今後の展望(2015年ごろや2020年ごろのワイヤレスブロードバンドのサービスイメージ、システムイメージなど)	日本上空で、地対空通信により地上と航空機間の通信を確保することで、機内において無線LANや携帯電話等によるインターネット接続サービスの提供が可能となる。
(2) ワイヤレスブロードバンドを実現するための課題(周波数の確保、国際標準化・研究開発の推進、利用環境の整備)	地対空直接通信の技術開発ならびに当該技術に使用する帯域の確保が課題と考えられる。
(3) 関連する国内外の動向と課題	米国においては、携帯電話通信技術を転用した地上と航空機間の地対空直接通信により、機内無線LANを使ったインターネットサービス「GOGOインフライトインターネットサービス」が大陸上で提供されている。衛星通信利用に比較してコストが低く通信料金も安価と言われており、米国の大手エアラインを中心に現在900機程度が当該サービスを実施している。なお、本邦においても、過去に地対空通信技術による航空機内電話サービスを実施した経緯がある。
(4) その他、将来のワイヤレスブロードバンドによるサービスやシステムに関する事項	電波利用料金の低減が事業者にとってコスト削減となり、通信利用料の低減、ひいては利用者の拡大及び利便性向上につながるため、特段の配慮を要望する。

以上